

豚コレラ対策について

環境政策課・農政課

昨年9月に岐阜県の養豚農場で、国内では26年ぶりに発生が確認された豚コレラについては、国が主導する様々な防疫措置が講じられてきましたが、感染の拡大に歯止めがかからず、本年9月には埼玉県で、今月には、県内の野生イノシシに感染が確認されました。

本市といたしましては、群馬県の指導のもと、周辺市町村や関係機関とも連携を図り、今後も継続して豚コレラ対策を進めてまいります。

1 畜産農家に対する支援

- (1) 消毒薬（消石灰・ロンテクト）の配布（2月22日から継続して実施）
豚舎周辺の消毒強化、68事業者（7月に追加配布）
- (2) 緊急鳥獣対策事業の実施（7月10日から）
有害鳥獣の侵入防止を図るための電牧柵設備機材・鳥獣ネット等の購入費を補助（市4割、農協組合員の場合はさらに1割を農協が補助）
- (3) 豚コレラ侵入防止緊急支援事業の実施（9月27日から）
豚コレラ保菌イノシシの畜舎等への侵入を防止するための設備を（独）農畜産業振興機構のアフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業で実施し設置する畜産農家に対して補助（国5割、県・市5割を補助）
- (4) ネズミ忌避剤の配布（10月15日から実施）
ウイルスの媒体と想定されるネズミの豚舎等への侵入防止

2 豚コレラのまん延防止施策

- (1) 消毒用マットの設置（3月1日から）
本庁舎、各支所等市有施設（12カ所）に設置、その他赤城南麓地域の公共施設に順次増設予定
- (2) 市内消毒ポイントの設置（10月3日から12月28日）
JA前橋市アグリサポートセンター、同北部営農センター、同アグリサポートセンター粕川、同南部支所（南部支所は10月17日から）
- (3) バス・トラック等関係機関への消毒依頼（9月26日から随時）
豚コレラ発生地域を走行した際の消毒を要請（市内事業所でタイヤ等）

3 野生イノシシに対する施策

- (1) 野生イノシシの捕獲強化（11月15日から2月29日まで実施予定）

狩猟期のイノシシ捕獲奨励金の上乗せ（５，０００円→１万円）

- (2) 野生イノシシのモニタリング対策（４月から継続実施）
 - ・市内各地区猟友会に対して、イノシシを捕獲した場合の血液採材のサンプル数を増やす要請を実施
 - ・猟友会等の入山者向けに、死亡（事故死を除く不自然死）個体を発見した場合の検査機関へ通報することの周知
- (3) 前橋市実施隊役員及び猟友会長会議の開催（１０月３日）

狩猟期のイノシシ捕獲奨励金の上乗せを周知するとともに野生イノシシの捕獲強化を依頼
- (4) 赤城山周辺自治体連絡会議の開催（１０月１５日）

前橋市、桐生市、沼田市、渋川市、みどり市、昭和村の５市１村が参加し、赤城山周辺における野生イノシシの捕獲強化等について参加自治体で情報共有を図るとともに連携強化を確認

4 その他の実施事項

- (1) 群馬県知事あて要望書を提出（９月１７日）

前橋市農業協同組合、JA前橋市養豚部会と連名で、豚コレラワクチンの早期接種や県境での消毒ポイントの設置等を要望
- (2) 市内発生時における緊急参集訓練の実施（４月１８日）

豚コレラの発生時に、防除及びまん延防止を実行するため緊急支援チームを設置することになるため、参集や初動体制の机上訓練を実施。
また、緊急支援チーム班別の体制説明会を実施（１０月１０日から）

5 本市の豚の飼養概況について（平成３１年２月１日時点 群馬県より）

飼養者数	72戸
農場数	84か所
農場内訳	上川淵1 芳賀1 桂萱5 城南11 大胡13 宮城30 粕川4 富士見19
飼養頭数	196,900頭